

市内一斉地震・津波避難訓練 ～津波襲来までの避難完了を目指して～



▲高台へ避難

11月5日、津波防災の日に合わせて、市内一斉に地震・津波避難訓練を実施し、約2,500人の市民が、地震から自身を守るためのシェイクアウト訓練、津波避難訓練などを行いました。

今年度、地域別津波避難マニュアルの作成に取り組んでいる野口地区では、避難路に通行止め箇所を設けるなど、より実践的な訓練を行いました。地震・津波避難訓練終了後には、当日の訓練内容の検証を行いました。

また、完成した津波避難マニュアルについては、地域内で共有をするため、対象地域に全戸配布します。

なお、残りの地区での地域別津波避難マニュアルの作成は、平成29年度から約3年をかけて行います。

北野口区自主防犯組織隊へ青パト贈呈 ～犯罪のない明るい御坊市を～

11月22日、公益財団法人和歌山県防犯協議会連合会から、昼夜献身的な防犯活動をしている北野口区自主防犯組織隊(米原史夫隊長)に、防犯パトロール車「青色回転灯装備車(青パト)」が贈呈されました。

今回贈呈された青パトは、子ども見守り活動などに使われ、今後も北野口区自主防犯組織隊では、青パトとともに、犯罪のない明るい御坊市実現への一翼を担っていきます。



▲青パト贈呈式の様子

◇北野口区自主防犯組織隊の活動紹介

北野口区自主防犯組織隊では、これまで、子どもたちの事故や事件への被害を未然に防ぐことを目的とした野口小学校区内の「地域安全マップ」作成、子ども見守り活動・夜間パトロールなどを実施してきました。



▲野口小学校児童とともに地域安全マップを作成

塩屋小学校「防災教室」 ～将来の地域防災の担い手に～



▲職員から消火器の使い方を教わる児童たち

10月17日、市消防本部が、塩屋小学校4年生を対象とした防災教室を開催しました。

今回の防災教室は、御坊市まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策の一環で、将来の地域防災に貢献できるよう、子どもの頃から災害に対する知識、災害対応能力を習得することを目的に開催されました。

児童たちは防災教室で、地震発生時取るべき行動、消火器の使い方などについて学びました。

水消火器を用いた消火器使用体験を終えた児童は、「消火器の水の飛距離(消火器の放射距離は3mから6m)を初めて知りました。もしものときは、今日学んだことを生かしたい」と話してくれました。